

# 令和6年度 旭川市永山公民館地域フォーラム開催結果



## 公民館地域フォーラムとは

公民館地域フォーラムは、公民館が地域の生涯学習の拠点となるよう、地域の皆様が自由に事業や地域の課題等を話し合い、共に考える集まりです。

## 概要

日時	令和6年12月6日(金)	午後2時30分から午後3時20分
場所	永山公民館 小会議室	
参加者数	6人	
進行内容	永山公民館長 〈第一部〉公民館の運営方針目標や永山公民館の令和5年度の事業実績、令和6年度の活動計画、施設利用状況、利用者アンケート結果等についての説明を行いました。 〈第二部〉公民館事業及び地域の課題等について参加者からの質問や意見交換を行いました。	

## 参加者の御意見等

### 1 公民館事業について

(参加者) 講堂の時計が長期間にわたり動いていないです。指揮者が時計を見ながら指導してくれていますが、指揮者の前の時計(講堂の後ろ側の壁面に付いている時計)が動かないため、かなり時間が過ぎてから休憩に入っています。

(公民館) 2階の時計は全部1つのシステムにつながっていて管理されています。そのシステムの故障のために、このような状況となっていますが、なかなか直す予算を確保することが難しく、いまだに直せていない状況です。施設を管理している支所には、随時状況を確認していき、来年度の予算の中でなんとか直したいということは、聞いています。ご不便をおかけして申し訳ございません。※講堂には前と後ろの壁面に時計があり、前側には既に別の時計を設置していましたが、この後、フォーラムの翌週に後ろ側にも時計を設置しました。

(参加者) 午後から活動していて、毎回ではないですが、床がすごく汚れているんです。靴を専用のシューズに履き替えています、床が砂でザラザラしていて、すごく滑りやすく危険なんです。それで掃除をしています、大きいモップが1つしかないので大変です。もし出来れば、モップをもう1個用意してもらえませんか、午前中に使用しているサークルさんに、靴を履き替えてもらったり、掃除してもらえたら嬉しいです。

(公民館) 土足でいいところとなっていますので、靴を履き替えてもらうということは難しいと思いますが、まず、この建物に入るときに玄関のマットで靴の汚れを落としてもらったり、終わった後に掃除をしてもらう等、午前中に使用している団体さんに話してみます。

(参加者) ・実にかくさんの行事があると感じました。ただ、公民館活動というのは、利用する人はたくさん利用していますが、知らない人やあまり興味のない人は、ほとんど寄りつかない感じがします。だから、公民館の利用や活動を活発にするには、そういう関心のない人たちを呼ぶこと、そんな取組が必要ではないかな、と思ったのですが、ただどういふふうにするかは考えつかないですけれども・・・これから高齢者の再雇用や定年が延長されたりすると、どんどん参加人数が減ってくると思います。自分たちのグループも人がどんどん減っていて、何年前かに比べたら半分位になっているんです。年寄りがどんどん減って行って、若い人は入ってくれないんですね。「あかり」に広告を出しても、昔だったら何人か手をあげてくれましたが、最近ほとんど反応がないです。恐らく他のグループも同じ状況かな、と感じます。公民館の利用を活発にさせることを今から考えておかないと、しりつぼみになってしまうのではないかと心配しています。

・(公民館に関心をもってもらうのに)一番、いいのはフェスティバルですよね。年に1回しかないですけど、こういうことをやっていますということを宣伝していった方が、興味のある人が「じゃあ行ってみよう」って。(普段の活動での)サークルを見に行こう、という気にはならないと思うので。サークル体験・見学会は、知らない人は知らない。あさひばしを見ない人は見ないので、そこは難しいところだと思いますが、公民館に用事があって来た人で、興味のある人はポスターを見てるんですよ。その人たちをどうやって惹きつけるかってところです。たまたまポスターを貼りに来た時に、カラオケサークルを探している人がいたのですが、ポスターがないので、どこに聞いたらいいか、その人に聞かれたけれど、分かりませんでした。

(公民館) 生涯学習活動団体さんのA3二つ折りのちらしが置いてあり、何曜日にどのサークルが活動しているというのと、連絡先等を掲載していますので、公民館に問い合わせがありましたら、そのチラシをお渡しして案内しています。

(参加者) その方は陶芸もいかなってポスターの写真を撮っていました。だから、勿体ないですね。私自身もどういふサークルがあるのか把握していないので、カラオケが何曜日にやっているか聞かれても分かりません。そういうときは公民館に聞いてくださいって言うっていいですか？

(公民館) はい。公民館が対応します。

(参加者) ・興味のある方は公民館に来るけど、来ない方はまったく来ることもないというところで、そこをどう呼んだらよいか、ということですね。

・まず、来た方に対しては、パンフレットをもう少し目立つようにするとか、内容をくわしくするとかですね。全く公民館に寄らない人を呼ぶというのは難しいですね。

・公民館というと、近場に住んでいる人の利用が多いと思うんです。わざわざ遠い所から来るのもなかなかできない。まして年配になってくると車の運転ができなくなって、行けなくなってしまいます。やはり歩いて来られるような人が多いのかなと思います。永山は永山に住んでる人が多いですね。そういう方を中心に宣伝するとよいのかなって。公民館でこういうことやってますよ、興味のある方は来てくださって。口コミもそうですね。でもなかなか難しいですね。

・私のサークルでは、コロナの令和3年のときに、25名いた会員が9名になったんです。それで、もうこれは解散しかないかなってなったときに、残っていた団員で何とか乗り越えようということで、1人1人が必死になってつながりのある人を呼んで、20名になっているんですよ。遠くは台場や末広から来ている人もいます。80代が7名、70代が9名、68、69が2名、全員高齢ですけど、休まずに来てくれています。団員の力がかなり大事。必死になって呼びかけましたから。それで今やっと軌道に乗ったという感じです。いろいろな難問があるんですけども、やはりやる気が起きれば何とか頑張っていこうってなる気がします。私は、団員のエネルギーかな、というふうに感じています。今は、高齢化が進んでいるから大変だと思います。救いとなる答えは出てこないですね。なかなか難しいですね。

(公民館) まず、公民館に来た方に対して、興味を持ってもらえるように、チラシを目立たせたりといった工夫やチラシの内容等についても検討したいと思います。

この度は、貴重な御意見・御提言をいただき、誠にありがとうございました。  
皆様の御意見等につきましては、永山公民館の運営や事業活動に反映させるよう努めてまいります。  
今後とも、永山公民館の運営にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。